

奈良県感染症情報

令和4年 第15週(4月11日～4月17日)
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:074-41-3183

今週の概要

- マダニに咬まれないようにしましょう

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)			
1	感染性胃腸炎	3.12	(1.71)	↑	→	↑↑
2	突発性発しん	0.29	(0.38)	→	→	↓
3	咽頭痛発熱	0.09	(0.03)	↗	→	→
3	手足口病	0.09	(0.09)	↑↑	↑↑	↓
5	流行性耳下腺炎	0.06	(0.00)	↑↑	↓	→

発生状況: 大流行 流行 やや流行 少流行 散発 (疾患毎に、基準値を定めています)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 ↑↑急増、↑増加、↗やや増加、→横ばい、↘やや減少、↓↓減少

◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第15週の新型コロナウイルス新規感染者数は3016名と、前週の2903名に比べて若干増加しており、ピークを脱したものの、今なお下がりがみられ、水俣にありまして、これから迎える大型連休において、感染を再び拡大させないために、県民の皆様には引き続き適切な対策をお願いします。また、リスクが高い場面と低い場面でのメリハリを意識して行動することにより、豊かな日常生活を送っていただきたいと思っております。

保健研究センターでは、県内での変異株の流行状況を把握するために、新型コロナウイルス遺伝子解析を実施しており4月11日～14日に実施した結果は、24検体のうち、BA.1系統が10検体、BA.2系統が13検体、解析不能が1検体でした。引き続き、遺伝子解析による変異株の流行状況把握に努めたいと考えています。

◆マダニに咬まれないように注意しましょう◆

- ヒトが野外作業や農作業、レジャー等で、ダニが生息場所に立ち入ると、ダニに咬まれることがあります。ダニがウイルスや細菌などを保有している場合、咬まれた口が病気を発症することがあります。
- 特に「日本紅斑熱」や「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」は、国内での発生報告数も多く、死亡事例も報告されています。
- マダニの活動が盛んな春から秋にかけては、マダニに咬まれる危険性が高まる草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、次のことに注意しましょう。
- ★長袖・長ズボン、足を完全に覆う靴、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくしましょう。
- ★服は、マダニを自覚で確認しやすいうちのものがおすすめです。
- ★虫除け剤の中には服の上から用いるタイプがあり、補助的な効果があると考えられています。
- ★帰宅後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。特にわきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部などがポイントです。

くわしくは厚生労働省HP:ダニ媒介感染症

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/scsakuunitaite/bunya/0000161495.html>)

奈良県感染症情報

令和4年 第16週(4月18日～4月24日)
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:074-41-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)			
1	感染性胃腸炎	3.50	(3.12)	↑	↑	↑↑
2	突発性発しん	0.53	(0.29)	↗	→	→
3	手足口病	0.18	(0.09)	↑↑	↑↑	↓
4	咽頭痛発熱	0.06	(0.09)	→	↗	↓
4	A群溶連菌咽頭炎	0.06	(0)	↑	→	→

発生状況: 大流行 流行 やや流行 少流行 散発 (疾患毎に、基準値を定めています)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 ↑↑急増、↑増加、↗やや増加、→横ばい、↘やや減少、↓↓減少

◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第16週の新型コロナウイルス新規感染者数は1973名と、前週の3016名より減少しましたが依然多くの方の感染が続いており、大型連休中は往来や交流も多く感染リスクが高い場面も想定されますので、感染拡大を引き起こさないように県民の皆様には引き続き適正な対策をお願いします。

奈良県では、感染防止と社会・経済活動を両立させ、日常生活の維持を目指していきたくと考えています。感染を拡大させないために、「つぎのつぎ」のため、基本的な感染防止策「マスク・換気・消毒・距離」の対策をとり、3つの感染経路「エアロゾル・飛沫・接触」にご注意をお願いします。

また、リスクが高い場面と低い場面でのメリハリも意識して行動することにより、「豊かな日常生活」を送っていただきたいと思っております。

◆小児科外来情報◆

北部地区(田中小児科医療)

発熱の原因が不明な子どもはつきりする者以外、ほぼ全例にコロナPCR検査を行った。

その結果、家庭内感染を除くと陽性例は多くない。

細菌培養、ノロ、ロタ、アデノ全て陰性の感染性胃腸炎が複数例ある。

中部地区(岡本内科子どもクリニック)

Covid19陽性者が増加、園児・学童から感染の家内感染も多い。

短期の発熱、咽頭痛や軽度の軽症経過が多い様子。感染性腸炎は減少した。他の届け出疾患はなかつた。

南部地区(奈良県総合医療センター小児科)

COVID-19感染症の流行は続いていて、低年齢ではほとんど軽症だが、熱や咳嗽の遷延や食物摂取困難例も少数存在している。昨年同様に熱中症との鑑別も必要となっている。

ノロウイルス感染等の感染性胃腸炎が増加している。細菌性腸炎も散見される。

次回週報は令和4年5月9日(月)に発行します

奈良県感染症情報

令和4年 第17週(4月25日～5月1日)
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0741-47-3183

今週の概要

- 病原体(ウイルス)検出情報(4月)
- 風しんの追加的対策にご協力ください

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	(前週) 増減			
1	感染性胃腸炎	2.94	(3.50) ↑	↑	↑	→
2	突発性発しん	0.18	(0.53) ↓	↓	↓	↑↑
3	手足口病	0.15	(0.18) ↑	↑↑	↑↑	↑↑
4	咽頭結膜熱	0.12	(0.06) ↑	↑	↑↑	↓
5	水痘	0.06	(0.03) ↑	↑	↑↑	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑**急増、**↑**増加、**↔**やや増加、**↔**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第17週の新型コロナウイルス新規感染者数は1573名と2週続けての減少傾向にありますが、依然多くの方の感染が続いております。

感染拡大の防止のため、ふだん同居していないメンバーとの活動は、交通機関や車による移動でも注意し、飲食はきちんと感染対策をしている店舗で行いましょう。又、マスクを外した会話は控える、多人数・長時間は避け、大声での会話はしない等ご注意ください。
 リスクが高い場面と低い場面でのメリハリも意識して行動することにより、「豊かな日常生活」を送っていただきたいと思っております。

◆病原体(ウイルス)検出情報(令和4年4月)◆

※ウイルス分離回定日での集計結果

検出病原体	北部	中部	南部	その他	臨床診断名
ライノ	C	1			手足口病、無菌性髄膜炎、細菌性髄膜炎(1)

感染症発生動向調査において、新型コロナウイルス対応のため、医療機関より提供いただいた検体の検査が遅延しております。

◆風しんの追加的対策にご協力ください◆

妊娠中に風しんに感染した場合、生まれてくる赤ちゃんが先天性風しん症候群(CRS)になってしまふ可能性があります。生まれてくる赤ちゃんをCRSから守るためには、周りの方々も風しんに対する免疫(抗体)を持つ必要が
 あります。

風しんの公的予防接種を受ける機会があった、1962(昭和37)年4月2日～1979(昭和54)年4月1日生誕の男性を対象として、風しんの抗体検査と予防接種を無料で受けられるクーポン券を配布しています。
 詳しくは、厚労省ホームページ(https://www.mhlw.go.jp/stf/scsakunitaiku/hunyaku/konkou_jiyoku/kenkou/kokkaku-kansenshou/ruicla/index_00001.html)をご参照ください。



出典: 政府広報オンライン <https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201406/3.html>

奈良県感染症情報

令和4年 第18週(5月2日～5月8日)
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0741-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報
- 4月報(単位報告対象疾患(性感染症・薬剤耐性菌感染症)の状況)

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	(前週) 増減			
1	感染性胃腸炎	2.38	(2.94) →	→	→	↓
2	突発性発しん	0.12	(0.18) ↓	↓	↓	↓
3	咽頭結膜熱	0.06	(0.12) →	→	→	↑↑
3	ヘルパンギーナ	0.06	(0) ↑↑	↑↑	↑↑	→
5	RSウイルス感染症	0.03	(0) ↑↑	↓	→	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑**急増、**↑**増加、**↔**やや増加、**↔**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第18週の新型コロナウイルス新規感染者数は1566名と、減少傾向が続いておりましたが依然多くの方の感染が続いております。大型連休中の感染については、今後半明していると思いますが県民の皆様には引き続き適正な感染対策をお願いいたします。

奈良県では、感染防止と社会・経済活動を両立させ、日常生活の維持を目指していきたいと考えています。感染を拡大させないために、「つづみいっつさなみ」のため、基本的な感染防止策「マスク・換気・消毒・距離」の対策をとり、3つの感染経路「エアロゾル・飛沫・接触」にご注意をお願いします。

今後は気温が上がり夏日になる日も想定されますが、熱中症にも注意しながらリスクが高い場面と低い場面(例えば一人でいる時、外で他の人と距離がとれる場合等はマスクを外す。)でのメリハリも意識して行動することにより、「豊かな日常生活」を送っていただきたいと思っております。

◆小児科外来情報◆

北部地区(田中小児科医療)

3歳女児のマイコプラズマ肺炎があった。他にも咳が長引く幼児がいる。届出する疾患はない。

中部地区(南内科こどもクリニック)

短期の発熱の軽微感冒例が多い。
 Covid19陽性者はやや減少した。発熱遷延などの例は多く、軽微経過の例がほとんどであった。
 感染性腸炎もあるが軽微経過。その他の夏風邪等届け出疾患はなかった。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

ウイルス性胃腸炎の流行は続いている。手足口病、ヘルパンギーナも見られた。
 COVID-19は増減しながらも流行している。年少児ではほとんどが軽微に経過している。



奈良県感染症情報

令和4年 第19週(5月9日～5月15日)
奈良県感染症情報センター(奈良保健研究センター)
<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:074-417-3183

今週の概要

- 「密閉」空間にしないよう、こまめな換気を

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	奈良県		中部	南部
		定点当たり	増減		
1	感染性胃腸炎	3.56	↗	↗	→
2	突発性発しん	0.32	→	→	→
3	A群溶連菌咽頭炎	0.12	↗	↗	↗
4	咽頭結核熱	0.09	↗	→	→
4	手足口病	0.09	→	↗	↗

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↗**急増、**↗**増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↘**減少

◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第19週の新型コロナウイルス新規感染者数は2298名と第18週の1666名より増加しています。
 奈良県におきいても、感染力が強いとされて、**新たなオミクロン株(BA.2系統)**の割合が高くなってきました。
 リスクの高い場面(場面に注意し、基本的な感染防止策 (1)マスク、(2)換気、(3)消毒、(4)距離の徹底を引き続きお願いします。

大型団体の向け、また季節の変わり目でもあり、疲れのたまりやす時期です。疲れがたまっていると、免疫力が落ち病気になるかかります。休息をとり、バランスのよい食事などを体調管理に気をつけましょう。

◆「密閉」空間にしないよう、こまめな換気を◆

感染症の1つであるエアロゾルは換気することで室外に排出されます。

効果的な換気をするコツがいくつかあります。

- 窓がある場合
 - ・風の流れる方向をよるよる、2方向の窓を、1回、数分程度全開にしましょう。
 - ・換気回数(15分)2回以上確保しましょう。
- ・窓が1つしかない場合でも、入り口のドアをあければ、窓とドアの間に空気の流れができます。扇風機を窓の外に向けて風の流れができるようする、浴室やトイレ、レンジフードなどの換気扇を併用することも換気の効果があげることができます。
- 乗り物の場合
 - ・乗用車などのエアコンは「内気循環モード」ではなく、「外気モード」にしましょう。
 - ・電車やバス等の公共交通機関でも、窓開けに協力しましょう。

これから暑くなる熱中症予防と感染防止策の両立が大切になります。
 熱中症予防にはエアコンの活用が有効です。ただし、一般的な家庭用エアコンは、空気を循環させるだけで換気を行っていません。新型コロナウイルス対策のためには、浴室内でも窓開放や換気扇によって換気を行う必要があります。換気により室内温度が高くなりがちなので、エアコンの温度設定を下げるなどの調整をしましょう。

詳しくは、厚生労働省HP(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/tengue_fever_000001.html) をご参照ください。

奈良県感染症情報

令和4年 第20週(5月16日～5月22日)
奈良県感染症情報センター(奈良保健研究センター)
<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:074-417-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	奈良県		中部	南部
		定点当たり	増減		
1	感染性胃腸炎	4.56	↗	↗	↘
2	突発性発しん	0.35	↗	↗	↗
3	咽頭結核熱	0.15	↗	↗	↗
4	A群溶連菌咽頭炎	0.09	↗	↗	↗
5	RSウイルス感染症	0.03	↗	→	↗

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↗**急増、**↗**増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↘**減少

◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第20週の新型コロナウイルス新規感染者数は1875名と、前週の2298名より減少していますが、依然高い水準で推移しています。県民の皆様には引き続き、適正な感染対策をお願いいたします。

マスクの着用について、屋外で周囲の人と距離が十分に確保できるような場面であったり、屋外で周囲との距離が十分に取れない場合でも、周囲で周囲の人と距離が十分に確保できるような場面であったり、これまでどおり、マスク着用は必ずしも必要ありません。ただし、屋外でも人混みでは適宜着用することが必要です。

◆県内概況(その他の感染症)◆

咽頭結核熱の報告が特に中和保健所管内東部地域で増加しています。咽頭結核熱は代表的な夏風邪のひとつで、例年これから徐々に増加し始め、夏にピークとなります。発熱、のどの痛みや結膜充血がおこる病気で、予防には手洗いやうがい、タオルの共有を避けるなどが有効です。

◆小児科外来情報◆

北基地区(田中小児科医院)

下痢症状のみの感染性胃腸炎が保育園児に見られる。
 発熱、咳の後に発熱する乳幼児が多くなっている。
 手足口病が増えた。
 Covid-19は減少傾向にはいる。

中部地区(岡本内科ともクリニック)

Covid-19陽性例は僅かずつ増えつつ見られる。軽症経過。
 感染性胃腸炎が流行中、嘔吐が主でノロ様。
 他の菌・ウイルスも増えている。手足口病は見られなくなった。

南部地区(奈良総合医療センター小児科)

軽症の呼吸器感染症が増加。一部発熱の遷延例あり。Covid-19陽性者はみられるが、家庭での感染が多く、年少児では症状が軽い場合がほとんど。
 咽頭炎も増加、アデノウイルス陽性例がみられる。手足口病も増えている。
 胃腸炎は若干減少してきている。



出典: 厚生労働省HP
<https://www.mhlw.go.jp/content/10000000/000533494.pdf>

奈良県感染症情報

令和4年 第21週(5月23日～5月29日)
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:074-47-3183

今週の概要

- 屋外・屋内でのマスク着用について

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)			
1	感染性胃腸炎	4.88	(4.56)	↗	↗	↘
2	RSウイルス感染症	0.50	(0.03)	↗↗	↘	↗↗
3	咽頭結膜熱	0.24	(0.15)	↗↗	↗	↗↗
3	突発性発しん	0.24	(0.35)	↘	↗	↘
5	A群溶連菌咽頭炎	0.21	(0.09)	↗↗	↗↗	↗

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↗**急増、**↗**増加、**↔**やや増加、**↘**横ばい、**↘**やや減少、**↘**減少

◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第21週の新型コロナウイルス新規感染者数は1601名と第20週の1875名より減少していますが、依然高い水準で推移しています。
引き続きリスクの高い場面(換気)の徹底をお願い致します。

◆ 県内概況(その他の感染症) ◆

RSウイルス感染症の報告が郡山保健所管内で増加しています。乳幼児や高齢者では症状が進み、過性咳嗽(タンがからんだ咳)や気管支炎、肺炎へと重症化することがあります。しかし、年長児や成人は症状が軽く、感染していることがわかりにくいことから、咳等の症状がある場合は、できるだけ乳幼児等への接触を避けることが必要です。

◆ 屋外・屋内でのマスク着用について ◆

- <屋外の場合>
- ・ 人の距離(2m以上を目安)が確保できる場合や、距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合(※)は、マスクを着用する必要はありません。
 - ・ ※「会話をほとんど行わない」とは、屋外で人とすれ違い際(前市な挨拶を交わす場合や、携帯電話で話している者の横を立ちまらずに通る過ぎるような場合)を想定しています。
- <屋内の場合>
- ・ 人の距離(2m以上を目安)が確保できて、かつ会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。

◇ 夏場は、熱中症防止の観点から、マスクが必要ない場面では、マスクを外すことを推奨します。
 ◇ マスクを着用しない場合であっても引き続き、手洗、「密」の回避等の基本的な感染対策を継続しましょう。
 詳しくは、厚生労働省HP(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisaku_nitsuite/hunya/kenkou/iryou/langue/fever_0a_00001.html)をご参照ください。

奈良県感染症情報

令和4年 第22週(5月30日～6月5日)
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:074-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報
- 5月報(月)単位報告対象疾患(性感染症・薬剤耐性菌感染症)の状況

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)			
1	感染性胃腸炎	6.21	(4.88)	↗	↗	↗↗
2	突発性発しん	0.38	(0.24)	↗	↔	↘
3	RSウイルス感染症	0.32	(0.50)	↗↗	↗↗	↘
4	咽頭結膜熱	0.29	(0.24)	↗	↗	↘
5	手足口病	0.15	(0.12)	↗↗	↗↗	↘

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↗**急増、**↗**増加、**↔**やや増加、**↘**横ばい、**↘**やや減少、**↘**減少

◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第22週の新型コロナウイルス新規感染者数は1060名と、第21週の1601名より減少していますが、今後の感染状況について引き続き注視が必要です。県民の皆様には、マスクの正しい着用、手指衛生、換気など感染対策をお願いします。

◆ 県内概況(その他の感染症) ◆

感染性胃腸炎の報告が増えています。感染性胃腸炎はウイルスや細菌、寄生虫などの病原体により引き起こされます。夏場は食品が傷みやすくなり細菌が繁殖しやすいので、調理前後の手洗いや食品の加熱を徹底しましょう。

◆ 小児科外来情報 ◆

北部地区(田中小児科医院)

感染性胃腸炎が多い。検査を実施した例にノロ、アデノの陽性例はなかった。
学童の流行性耳下腺炎があった。

中部地区(岡本内科子どもクリニック)

鼻水・咳の軽度感冒例が主。発熱例、Covid19陽性例は減少した。
感染性胃腸炎も減少傾向。コロナ以前に見られていたヘルパンギーナ等の夏風邪も減少した。

感染性胃腸炎も減少傾向。コロナ以前に見られていたヘルパンギーナ等の夏風邪も減少した。

南部地区(奈良県総合医療センター小児科)

アデノウイルス腸炎が増えている。一部保育所は園児の半数で腸炎症状がでている。主に下痢が中心だが、重症傾向もある。
またアデノウイルス咽頭炎も多くみられていた。



奈良県感染症情報

令和4年 第23週(6月6日～6月12日)
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:074-417-3183

今週の概要

- 新型コロナウイルスワクチン追加接種(4回目接種)について

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	(前週) 増減			
1	感染性胃腸炎	5.32	(6.21) ↗	↗	↗	→
2	咽頭結膜熱	0.47	(0.29) ↗↗	↗↗	↗	↗↗
3	突発性発しん	0.26	(0.38) →	→	→	↓
4	A群溶連菌咽頭炎	0.15	(0.09) ↗	↗	→	↓
5	水痘	0.12	(0.00) ↗↗	↗↗	↗↗	→

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。) 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↗**急増、**↗**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↓**やや減少、**↓**減少

◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第23週の新型コロナウイルス新規感染者数は812名と第22週の1060名より減少していますが、依然高い水準で推移しています。県民の皆様には引き続き、適正な感染対策をお願いします。
マスクを着けることや皮膚の熱が逃げにくくなり、気づかぬうちに脱水になるなど、体調調整がしづむくようになってまいります。暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症予防」、マスク、換気などの「新しい生活様式」を両立させましょう。

◆県内概況(その他の感染症)◆

子どもの夏風邪の一つである咽頭結膜熱が増加しています。咽頭結膜熱は、プールの水を介して目の粘膜から感染することもあるため、プール熱とも呼ばれています。発熱、喉の痛みや結膜充血がおこる病気であり、予防には手洗いやうがい、が有効です。

◆新型コロナウイルスワクチン追加接種(4回目接種)について◆

3回目接種から5ヶ月が経過した60歳以上の方および18歳以上60歳未満の基礎疾患をお持ちの方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方を対象に、追加接種(4回目接種)が始まりました。

新型コロナウイルス感染症は、高齢者ほど重症化しやすく、一定の基礎疾患を持つ方についても重症化しやすいことが明らかとなっています。このようなデータや諸外国の動向等を踏まえ、新型コロナウイルスに感染した場合の重症化予防を目的として、4回目接種を実施することとなりました。

詳細については、下記の参考URLからご覧ください。

参考 ①広域ワクチン接種会場追加接種(3回目・4回目)【特設ページ】(奈良県)

<https://www.pref.nara.jp/00294.htm>

②新型コロナウイルス Q&A(厚生労働省)

<https://www.covid19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>

出典:厚生労働省 HP

<https://www.kentici.go.jp/iv/content/000106080.pdf>

奈良県感染症情報

令和4年 第24週(6月13日～6月19日)
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:074-417-3183

今週の概要

- 小児科外来情報
- 病原体(ウイルス)検出情報(5月)

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	(前週) 増減			
1	感染性胃腸炎	6.59	(5.32) ↗	→	↗	→
2	咽頭結膜熱	0.44	(0.47) ↗	→	↗	↗
3	突発性発しん	0.35	(0.26) →	↗	→	↗↗
4	RSウイルス感染症	0.24	(0.09) →	↓	↗↗	↓
5	A群溶連菌咽頭炎	0.18	(0.15) ↗	↗	↗	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。) 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↗**急増、**↗**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↓**やや減少、**↓**減少

◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第24週の新型コロナウイルス新規感染者数は793名と、第23週の812名より減少していますが、今後の感染状況について引き続き注視が必要です。県民の皆様には、マスクの正しい着用、手指衛生、換気など感染対策をお願いします。

リスクが高い場面と低い場面でのメリハリも意識して行動することにより、「豊かな日常生活」を送っていただきたいと思えます。

◆小児科外来情報◆

北部地区(田中小児科医院)

感染性胃腸炎が続いている。幼児のアデノウイルス咽頭炎が流行している。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数も少しずつ増加。軽度の感冒症状例が主。

発熱例でも、COVID-19 陽性例は減少した。アデノウイルス咽頭炎が流行との情報があるが増加の印象はない。

南部地区(奈良県総合医療センター小児科)

アデノウイルス腸炎の流行が続いている。熱・嘔吐は軽いが下痢が遷延している。

咽頭炎は減少した。手足口病、ヘルパンギーナはみられなくなった。

呼吸器器状の児幼児やラシブウイルス、RSウイルス陽性者が報告されている。

濃厚接触者以外でも、COVID-19陽性者がみられている。引き続き鑑別診断には注意が必要と思われる。

◆病原体(ウイルス)検出情報(令和4年5月)◆

検出病原体	その地			ウイルス分離回数/同日での集計結果
	北部	中部	南部	
アデノ	41	1		感染性胃腸炎・発疹症(1)※
ライノ	C	2		感染性胃腸炎・発疹症(1)※リノゴ病様(1)

※重症感染

感染症発生動向調査に基づき、新型コロナウイルス対応のため、医療機関より提供いただいた検体の検査が遷延しております。

奈良県感染症情報

令和4年 第25週(6月20日～6月26日)
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:074-417-3183

今週の概要

- 蚊媒介感染症について

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県		中部	南部
		定点当たり	(前週) 増減		
1	感染性胃腸炎	6.35	(6.59) →	→	→
2	咽頭痛/熱	0.53	(0.44) ↑	→	↑↑
3	RSウイルス感染症	0.50	(0.24) ↑	↑↑	↓
4	突発性発しん	0.35	(0.35) →	↔	↓
5	A群溶連菌咽頭炎	0.21	(0.18) ↑	→	↑↑

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。) **増減**: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑**急増、**↑**増加、**↔**やや増加、**→**横ばい、**↓**やや減少、**↓↓**減少

◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第25週の新型コロナウイルス新規感染者数は715名と第21週の793名より減少していますが、今後の感染状況について引き続き注視が必要です。7月以降は梅雨明け、3連休や夏休みの影響もあり、接触の増加等が予想されます。県民の皆様には引き続き、正しいマスクの着用、手指衛生、換気など感染対策をお願いします。

◆ 県内概況(その他の感染症) ◆

咽頭痛/熱(プール熱)が増加しています。咽頭痛/熱は発熱、咽頭痛、結膜熱を主症状とする疾患で、感染経路は飛沫感染、接触感染などです。タオルの共用は避け、手洗い、うがいをこころがけましょう。

◆ 蚊媒介感染症について ◆

蚊媒介感染症とは、病原体を保有する蚊に刺されることよって起こる感染症のことです。
主な蚊媒介感染症には、ウイルス疾患であるデング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症、日本脳炎、ウエストナイル熱、黄熱、原虫疾患であるマリアなどがあります。
これら感染症は主に熱帯、亜熱帯地域で流行しています。
日本においては日本脳炎以外の蚊媒介感染症は海外からの輸入感染症とみられていますが、デング熱に関しては2014年に国内感染例が報告されました。

【対策法】

- ◆ 屋外の蚊が多い場所で活動する場合は、できるだけ肌を露出せず、虫よけ剤を使用するなど、蚊に刺されないよう注意してください。
 - ◆ 日本脳炎は不活化ワクチンによる予防接種、マリアは医師の処方による予防内服が有効です。
 - ◆ 蚊の発生を減らすために、定期的に幼虫が発生しそうな周辺の水たまりの除去・清掃をしましょう。
- 詳細については、下記の参考URLからご覧ください。

参考 ©蚊媒介感染症(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/scs/scskunit/suitc/hunwa/00001614053.html>

出典:厚生労働省HP

<https://www.mhlw.go.jp/file/05-ess/eisaku/younou-10000000-Kentoukyoku/0000162885.pdf>

奈良県感染症情報

令和4年 第26週(6月27日～7月3日)
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:074-417-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県		中部	南部
		定点当たり	(前週) 増減		
1	感染性胃腸炎	5.71	(6.35) →	→	↓
2	RSウイルス感染症	0.94	(0.50) ↑↑	↑↑	↓
3	突発性発しん	0.56	(0.35) ↑	↔	↑↑
4	咽頭痛/熱	0.50	(0.53) ↔	↑	↓
5	A群溶連菌咽頭炎	0.47	(0.21) ↑↑	↑↑	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。) **増減**: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑**急増、**↑**増加、**↔**やや増加、**→**横ばい、**↓**やや減少、**↓↓**減少

◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第26週の新型コロナウイルス新規感染者数は987名と、第25週の715名より増加しています。全国的にも上昇傾向に転じており、今後の感染状況について注視していただく必要があります。

県内でもオミクロン株のBA.5系統が初めて確認されました。WHOレポートでは、既存のオミクロン株と比較した重症度の上昇は見られずとされています。世界的にはBA.1系統やBA.5系統の割合が増加しており、BA.4系統やBA.5系統へ置き換わりつつある中で、陽性者が増加傾向になっていきます。

県民の皆様には引き続き、「マスクの着用」や「手洗い」「換気」など基本的な感染対策をお願いします。

◆ 県内概況(その他の感染症) ◆

RSウイルス感染症が増加しています。感染経路は飛まつ感染と接触感染などです。症状は、軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々です。特に乳児早期(生後数週間～数か月間)や高齢者は重症化することがあり、注意が必要です。現在ワクチンはありません。飛まつ感染の予防にはマスクの着用等が有効です。接触感染の予防には、子どもたちが日常中に触れるおもちゃ・手すりなどのこまめな消毒や、手洗い等が有効です。

◆ 小児科外来情報 ◆

北部地区(田中小児科医院)

保育園でのアデノウイルス咽頭炎の流行が続いている。
RSウイルス感染症が流行し始めた。
家族内感染の新型コロナウイルスが目立ち始めた。

中部地区(岡本内科子どもクリニック)

軽度の感冒が主。高熱例は減少した。
COVID-19陽性例は僅かずつあり乳児例もあつた。症状は軽症。
手足口病、ヘルパンギーナ等の夏風邪例は見られず。

南部地区(奈良県総合医療センター小児科)

アデノウイルス咽頭炎・アデノウイルス腸炎の流行が続いている。
発熱・咳嗽遷延例は、バラインフルエンザやライノウイルス、ヒトメタニューモウイルスが検出された。いずれも対症療法で軽快した。



出典:厚生労働省HP

<https://www.mhlw.go.jp/stf/scs/scskunit/suitc/hunwa/00001614053.html>